

<ママ with ららぽーとの取り組み>

■ 「ママ with ららぽーと」とは

「ママにやさしい」をコンセプトに、ママたちのショッピングセンターへのさまざまな期待を、「ららぽーと」の施設づくり・サービスに反映した取り組みです。



「ららぽーと富士見」では、多世代が交流する場となるよう、『乳幼児ママ』『小中学生ママ』と子どもの成長段階に合わせた、ママ with メニューをそれぞれ用意します。

『乳幼児ママ』にうれしい“空間”と楽しい“遊び”機能の充実（以下一例）

- フードコートには乳幼児ママにうれしい小上がり席や、子どもが喜ぶ仕掛けのあるキッズゾーンを用意
- 2階キッズコーナーにある、キッズトイレ・おむつ替えスペース・授乳室は内装にもこだわり、ママの気分も明るくなる空間に



子どものためのさわやかな「キッズトイレ」(2階)



シックでおしゃれな「おむつ替えスペース」(2階)



落ち着いた雰囲気「授乳室」(2階)

『小中学生ママ』にうれしい“体験”“エンターテインメント機能”の充実（以下一例）

- 屋外：身体を動かして楽しめる収穫体験やフットサル、バーベキューや鉄道アトラクション
- 屋内：「遊びながら学ぶ」をキーワードとした「(仮称)学ぶ！未来の遊園地」などのエンターテインメント機能が充実。ショッピング以外の、子どもと楽しむ機会を提供

<みついショッピングパーク キッズクラブ>

「三井ショッピングパーク ららぽーと」をはじめとする、三井不動産商業マネジメント株式会社が運営する商業施設 13 施設で、小学生以下のお子さまだけの会員クラブ「みついショッピングパーク キッズクラブ」が本年 10 月よりスタート。会員だけのさまざまな特典や、イベントなどにご参加いただけます。



- キッズクラブ特典店舗の POP がある店舗でお買い物をすると、割引サービスを受けることができたり、ノベルティがもらえます。
- 「キッズクラブメンバーズカード」のご提示で、対象施設にて開催される「キッズクラブイベント」に参加でき、1 回参加する毎にスタンプを 1 つ押印。10 個集めるとプレゼントがもらえます。

● 三井不動産は、家族の幸せな tomorrow を応援する、「ママ tomo パパ tomo」に参画しています ●

「ママ tomo パパ tomo」とは、「たまひよ」が「家族の幸せな tomorrow を応援する」というコンセプトに協賛する企業と一緒に、ママとパパの子育てを応援する活動です。三井不動産も、笑顔で溢れる家族を増やすために、たくさんの幸せのタネを伝えていきます。

＜「三井ショッピングパークカード」のポイント・サービスを共通化＞

株式会社クレディセゾンと提携し発行する「三井ショッピングパークカード《セゾン》」を本年3月にリニューアルし、全国の三井不動産グループ運営の32施設でポイントプログラム・サービスを共通化しました。

- 日々の買い物からハレの買い物まで、全対象施設内でポイントが共通して貯まります。
- 貯めたポイントは、全対象施設内でご利用可能（500P=500円分）。

＜環境対応・防災対策などにより地域と共生する施設＞

「ららぽーと富士見」では、共用部の照明にLEDを採用したり、一部に壁面緑化、屋上緑化、フェンス緑化を取り入れています。また、災害に強い通信システムを構築し、万全な防災体制の整備に取り組んでいます。さらに、お子さま連れの方やご高齢の方、身体の不自由な方、海外からお越しの方など、誰もが安心してご利用いただけるよう、ユニバーサルデザインを積極的に導入しており、環境を守り、災害に強く、人にやさしい、地域づくりに貢献しています。

① 環境への取り組み



約100kWの太陽光発電パネル
発電施設の「見える化」を行うことで、省エネ意識の向上に。



ハイブリッド照明
太陽光・風力の発電により点灯。市役所エントランス付近や緑地公園に設置。



電気自動車充電器
国道254バイパス側の平面駐車場に7台分を用意。



コージェネレーションシステム
エネルギーを有効活用するため、ガスから電気と熱を同時に発生。排熱を有効利用し、省エネに貢献。370kW×2台（計740kW）



ごみ減量化対策
分別収集やリサイクルの推進、生ごみの飼料化・たい肥化などの徹底。



環境推進・社会貢献活動
“&EARTH”
ご家庭で不用になった衣料品やペットボトルキャップの回収、盲導犬への理解を深めるイベントなどを、施設内で実施。

② 防災への取り組み



かまどベンチ

平常時はベンチとして、非常時には炊き出し用のかまどとして使用。



非常用トイレ

非常時にマンホール穴の上に設置する簡易トイレ。

- 周辺地域の雨水処理にも対応可能な大容量の調整池（約63,000m³）を敷地内に整備。
- 施設内において緊急地震速報に対応、館内防災センターでは衛星携帯やMCA無線など災害に強い通信システムを構築し、万全な防災体制を整備。

③ ユニバーサルデザインへの取り組み

- 言語・国籍に関わらず利用しやすいよう、案内サイン・フロアマップ・ディレクトリにおいて、日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語の4カ国語表記に対応。
- お子さまとご一緒の方やご高齢の方、車いすをご使用の方、オストメイトの方などが利用しやすいよう、多機能トイレを各階3カ所、計9カ所設置。
- 介助が必要な方のため、メインエントランスである交通広場側エントランスにお客さま用インターフォンを設置。
- 駐車場のエントランス付近に車椅子用駐車場を計52台分配置。



案内サイン